

使用上の注意

下地の確認

- コンクリート下地に、表面水および湧水、漏水がないことを確認してください。
- 下地の清掃を入念に行い、接着の妨げとなる塵埃・油脂類・汚れ・さびなどがいないことを確認してください。

作業環境

- 降雨・降雪が予想される場合、または降雨・降雪後で下地が過度に湿っている場合は施工を控えてください。
- 気温が著しく低い、または高い場合は施工を控えてください。
- 強風、または高湿の時は、施工・養生に留意してください。

材料の保管および取り扱い

- 直射日光にさらされない場所に密閉状態で保管し、凍結させないように注意してください。
- 施工中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 目に入った場合には、多量の水で洗い、出来るだけはやく医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、清浄な水で口の中をよく洗浄し、医師の診察を受けてください。
- 容器からこぼれた場合には、速やかに処理してください。

※詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

FINE TEC

株式会社ファインテック

530-0054 大阪市北区山崎町3-12-1
TEL:06-6210-2447 FAX:06-6210-2448
<http://fine-tec.jp>

ポリマーセメント系塗膜防水材料

FTコート



FINE TEC

株式会社ファインテック

FTコートとは

エチレン・酢酸ビニル系エマルジョン樹脂を主成分とする『FTコートE-101』とアルミナセメントを主成分とする『FTコートP-101』を混合塗布することによって、強靱な弾性塗膜を形成するポリマーセメント系塗膜防水材です。
FTコートは水性であり、作業性・安全性に優れた、シームレスな防水層をつくることができます。

+
※イメージ図

E-101	
主成分	EVA共重合樹脂、アクリル樹脂
固形分	52±1%
粘度	13000±3000mPa・s(25℃)
Ph	6.0±1

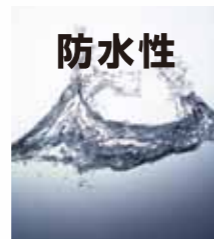
P-101	
主成分	アルミナセメント、珪砂

特長



1. 安全性

高分子エマルジョンを主成分としているので、有機溶剤系防水材とは異なり、臭気、毒性のない環境重視型の防水材です。また、火気による引火や、有毒ガスの発生が無く安全に施工できます。



2. 防水性

防水層は柔軟性に富み、コンクリート下地に生じるひび割れに対する追従性に優れている。また、シームレスな塗膜を形成するため、継ぎ目が無く防水の信頼性が高い。



施工性

3. 施工性

複雑な部位、厄物にも対応でき、また下地が含湿状態でも施工が可能です。



耐久性

4. 耐久性

耐アルカリ性等に優れた塗膜で長期間、防水性能を維持します。

塗膜物性

項目	Aタイプ塗膜	Bタイプ塗膜
引張強さ(N/mm ²)	0.9	1.1
破断時の伸び率(%)	430	160
ゼロスパンテンション伸び量(mm)	5.3	3.8
付着強さ(N/mm ²)	標準	1.2
	湿潤下地	1.8

引張強さ(N/mm²)

破断時の伸び率(%)

付着強さ(標準)(N/mm²)

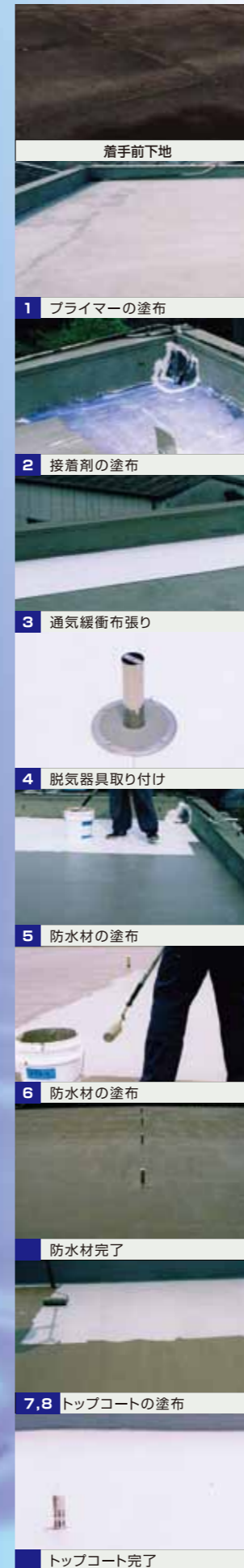
付着強さ(湿潤下地)(N/mm²)

※FTプライマー

塩ビ系長尺シートの付着性

工種	接着剤		端部シール剤		
	ウレタン系	エポキシ系	ウレタン系	エポキシ系	変性シリコン系
A-2塗膜	89	100以上	100以上	79	20
A-3塗膜	82	100以上	100以上	100以上	55

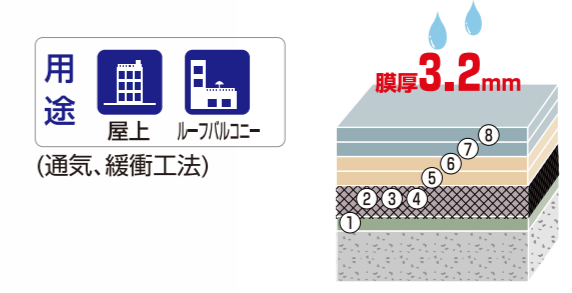
※接着強度(N/50mm巾)



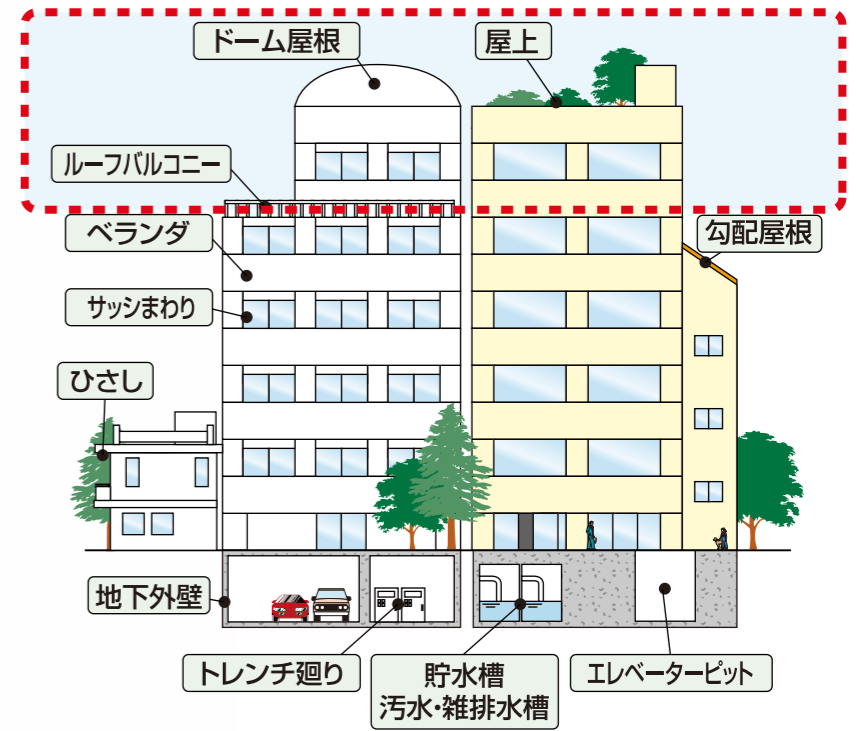
工法手順

D 工法 通気緩衝工法とは

下地含水率が高い改修工事においてFTコートと通気緩衝シートと組み合わせることにより、下地の水分が脱気層内に分散し、脱気筒を通して外部に排出されるため防水層の膨れを防止します。



工程	使用材料	使用量	施工方法	
1	プライマーの塗布	FTプライマー	0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	接着剤の塗布	FTボンド	0.2Kg/m ²	FTボンドをローラー刷毛で下地に塗布
3	通気緩衝布張り	FTシートD FT Jテープ		FTシートDをしわの入らないように貼付ける シート突合せ部にFT Jテープを貼る
4	脱気器具取り付け	FT脱気筒		脱気筒を取り付ける(1個/50~100m ²)
5	防水材の塗布	FTコートAタイプ	1.5Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布
6	防水材の塗布	FTコートAタイプ	0.7Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布
7	トップコートの塗布	FTトップ U	0.2Kg/m ²	FTトップ Uをローラー、刷毛で塗布
8	トップコートの塗布	FTトップ U	0.2Kg/m ²	FTトップ Uをローラー、刷毛で塗布

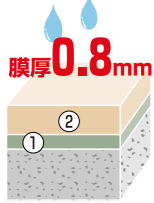



標準防水工法

A工法とは 樹脂リッチな配合で柔軟性に優れ、ベランダ、ひさし等の防水に適用します。また、サッシまわり等の線防水に威力を発揮します。

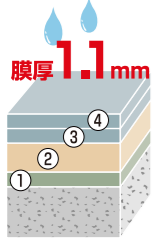
A-1工法
用途 
ベランダ ひさし 勾配屋根 サッシまわり
(保護モルタル仕上げは別途)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布	FTプライマー 0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布	FTコートAタイプ 1.5Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布



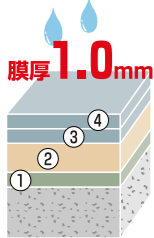
A-2工法
用途 
ベランダ ひさし
(歩行用防滑仕上げ)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布	FTプライマー 0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布	FTコートAタイプ 1.5Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布
3	トップコートの塗布	FTトップ NS 0.5Kg/m ²	FTトップ NSをローラー、刷毛で塗布
4	トップコートの塗布	FTトップ NS 0.4Kg/m ²	FTトップ NSをローラー、刷毛で塗布



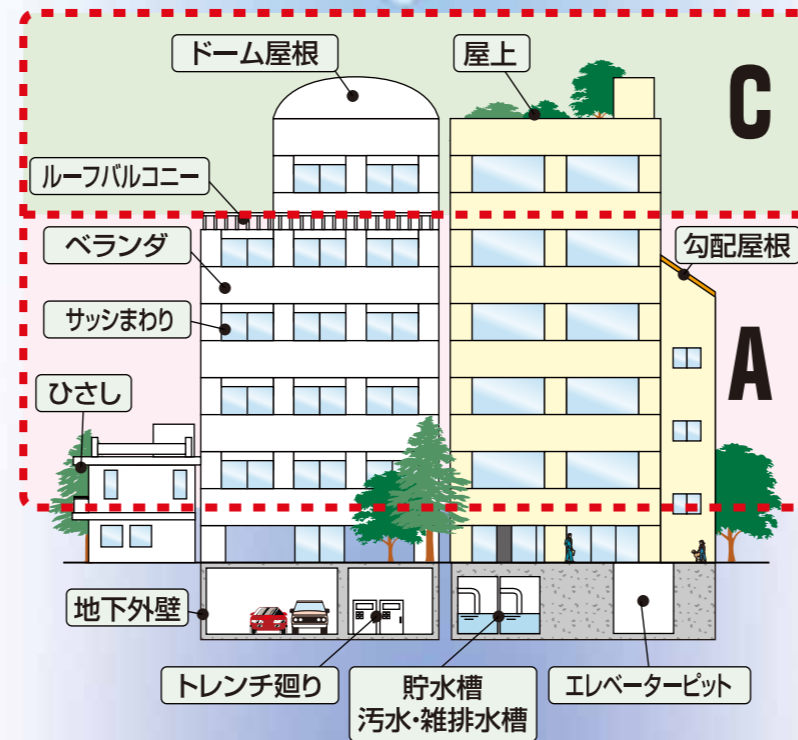
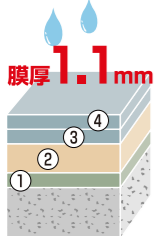
A-3工法
用途 
ベランダ ひさし
(軽歩行用艶あり仕上げ)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布	FTプライマー 0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布	FTコートAタイプ 1.5Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布
3	トップコートの塗布	FTトップ U 0.2Kg/m ²	FTトップ Uをローラー、刷毛で塗布
4	トップコートの塗布	FTトップ U 0.2Kg/m ²	FTトップ Uをローラー、刷毛で塗布



A-4工法
用途 
ベランダ ひさし
(歩行用艶あり仕上げ)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布	FTプライマー 0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布	FTコートAタイプ 1.5Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布
3	トップコートの塗布	FTトップ NS 0.5Kg/m ²	FTトップ NSをローラー、刷毛で塗布
4	トップコートの塗布	FTトップ U 0.2Kg/m ²	FTトップ Uをローラー、刷毛で塗布



ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)

PA-1仕様 平均厚み 0.8mm 使用量 1.5kg/m²

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布	FTプライマー 0.15Kg/m ²	ローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布①	FTコートAタイプ 0.8Kg/m ²	ローラー、刷毛で塗布
3	防水材の塗布②	FTコートAタイプ 0.7Kg/m ²	ローラー、刷毛で塗布

PA-2仕様 平均厚み 1.1mm 使用量 2.1kg/m²

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布	FTプライマー 0.15Kg/m ²	ローラー、刷毛で塗布
2	補強布張り	FTメッシュ又はFTクロス 1.0m	FTメッシュ又はクロスをしわの入らないよう広げ、FTコートAタイプをローラー、刷毛で張り付ける
3	防水材の塗布	FTコートAタイプ 1.2Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布

PA-3仕様 平均厚み 1.6mm 使用量 3.0kg/m²

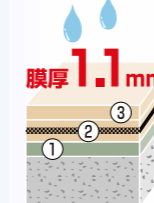
工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布	FTプライマー 0.15Kg/m ²	ローラー、刷毛で塗布
2	補強布張り	FTメッシュ又はFTクロス 1.0m	FTメッシュ又はクロスをしわの入らないよう広げ、FTコートAタイプをローラー、刷毛で張り付ける
3	防水材の塗布①	FTコートAタイプ 0.9Kg/m ²	ローラー、刷毛で塗布
4	防水材の塗布②	FTコートAタイプ 0.9Kg/m ²	ローラー、刷毛で塗布

標準防水工法

C工法とは A工法に補強布を挿入することにより塗膜強度、膜厚を確保し、屋上、ルーフバルコニー等の防水に適用します。

C-1工法
用途 
屋根 ルーフバルコニー 開放廊下 浴室 厨房
(保護モルタル仕上げは別途)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布	FTプライマー 0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	補強布張り	FTメッシュ又はクロス 1.0m	FTメッシュ又はクロスをしわの入らないよう広げ、FTコートAタイプをローラー、刷毛で張り付ける
3	防水材の塗布	FTコートAタイプ 1.2Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布



C-2工法
用途 
屋根 ルーフバルコニー
(歩行用防滑仕上げ)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布	FTプライマー 0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	補強布張り	FTメッシュ又はクロス 1.0m	FTメッシュ又はクロスをしわの入らないよう広げ、FTコートAタイプをローラー、刷毛で張り付ける
3	防水材の塗布	FTコートAタイプ 1.2Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布
4	トップコートの塗布	FTトップ NS 0.5Kg/m ²	FTトップ NSをローラー、刷毛で塗布
5	トップコートの塗布	FTトップ NS 0.4Kg/m ²	FTトップ NSをローラー、刷毛で塗布



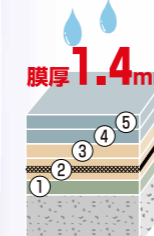
C-3工法
用途 
屋根 ルーフバルコニー
(軽歩行用艶あり仕上げ)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布	FTプライマー 0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	補強布張り	FTメッシュ又はクロス 1.0m	FTメッシュ又はクロスをしわの入らないよう広げ、FTコートAタイプをローラー、刷毛で張り付ける
3	防水材の塗布	FTコートAタイプ 1.2Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布
4	トップコートの塗布	FTトップ U 0.2Kg/m ²	FTトップ Uをローラー、刷毛で塗布
5	トップコートの塗布	FTトップ U 0.2Kg/m ²	FTトップ Uをローラー、刷毛で塗布



C-4工法
用途 
屋根 ルーフバルコニー
(歩行用艶あり仕上げ)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布	FTプライマー 0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	補強布張り	FTメッシュ又はクロス 1.0m	FTメッシュ又はクロスをしわの入らないよう広げ、FTコートAタイプをローラー、刷毛で張り付ける
3	防水材の塗布	FTコートAタイプ 1.2Kg/m ²	FTコートAタイプをローラー、刷毛で塗布
4	トップコートの塗布	FTトップ NS 0.5Kg/m ²	FTトップ NSをローラー、刷毛で塗布
5	トップコートの塗布	FTトップ U 0.2Kg/m ²	FTトップ Uをローラー、刷毛で塗布



標準防水工法

B工法とは セメントリッチな配合で高強度かつ硬化が早く、水槽、地下内外壁等の防水に適用します。

B-1工法
用途 各種水槽 地下内外壁 植栽
(保護モルタル仕上げは別途)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布 FTプライマー	0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布 FTコートBタイプ	2.5Kg/m ²	FTコートBタイプを金鍍で塗布

B-2工法
用途 各種水槽 地下内外壁 植栽
(樹脂モルタル仕上げ)

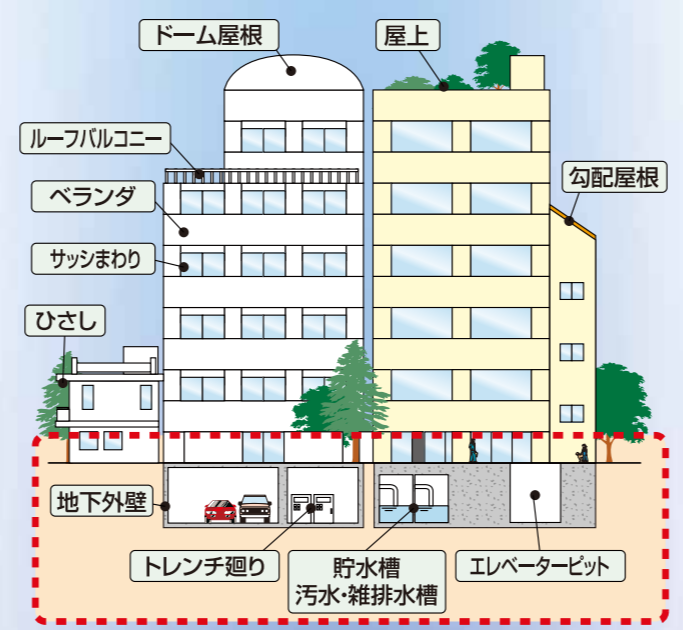
工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布 FTプライマー	0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布 FTコートBタイプ	2.5Kg/m ²	FTコートBタイプを金鍍で塗布
3	トップコートの塗布 FTTopp PC	1.5Kg/m ²	FTTopp PCを金鍍で塗布

B-2-E工法
用途 各種水槽 雑排水槽
(耐食性エポキシ樹脂モルタル)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布 FTプライマー	0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布 FTコートBタイプ	2.5Kg/m ²	FTコートBタイプを金鍍で塗布
3	トップコートの塗布 FTTopp E	1.5Kg/m ²	FTTopp Eを金鍍で塗布

B-3工法
用途 各種水槽 雑排水槽
(エポキシライニング仕上げ)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布 FTプライマー	0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布 FTコートBタイプ	2.5Kg/m ²	FTコートBタイプを金鍍で塗布
3	プライマー塗布 FT Qプライマー	0.1Kg/m ²	FT Qプライマーをローラー、刷毛で塗布
4	ライニング材塗布 FTレジンE-300	0.4Kg/m ²	FTレジンE-300をコテ、刷毛等で塗布



ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)

PB-1仕様 平均厚み 1.3mm 使用量2.5kg/m²

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布 FTプライマー	0.15Kg/m ²	ローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布① FTコートBタイプ	1.5Kg/m ²	金鍍で塗布
3	防水材の塗布② FTコートBタイプ	1.0Kg/m ²	金鍍で塗布

B-4-C工法
用途 腐食が著しく発生する汚水槽 雑排水槽
(エポキシライニング仕上げ)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布 FTプライマー	0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布 FTコートBタイプ	2.5Kg/m ²	FTコートBタイプを金鍍で塗布
3	プライマー塗布 FT Qプライマー	0.1Kg/m ²	FT Qプライマーをローラー、刷毛で塗布
4	ライニング材塗布 FTレジンE-200	0.8Kg/m ²	FTレジンE-200をコテで塗布
5	ライニング材塗布 FTレジンE-300	0.4Kg/m ²	FTレジンE-300をコテ、刷毛等で塗布

B-4-D工法
用途 腐食が著しく発生する汚水槽 雑排水槽
(エポキシライニング仕上げ)

工程	使用材料	使用量	施工方法
1	プライマーの塗布 FTプライマー	0.15Kg/m ²	プライマー液をローラー、刷毛で塗布
2	防水材の塗布 FTコートBタイプ	2.5Kg/m ²	FTコートBタイプを金鍍で塗布
3	プライマー塗布 FT Qプライマー	0.1Kg/m ²	FT Qプライマーをローラー、刷毛で塗布
4	ライニング材塗布 FTレジンE-200	0.8Kg/m ²	FTレジンE-200をコテで塗布
5	ライニング材塗布 FTレジンE-200	0.8Kg/m ²	FTレジンE-200をコテで塗布
6	ライニング材塗布 FTレジンE-300	0.4Kg/m ²	FTレジンE-300をコテ、刷毛等で塗布

製品一覧

「ファインテック」では、従来2缶必要だった仕様を1缶にまとめる構造パッケージングを実現。又皆様方の環境保全と経費節減のため、使用後の容器は、「プラスチックペール缶リサイクルシステム」で回収しリサイクルをしています。

防水材		FTコート (Aタイプ) ◆用途、内容 A,C工法用 ◆入り目 E-101 12kg P-101 8kg		FTコート (Bタイプ) ◆用途、内容 B工法用 ◆入り目 E-101 8kg P-101 12kg
		FTTopp (U) ◆用途、内容 A,C工法用 艶あり仕上げ 3色 ◆入り目 16kg		FTTopp (PC) ◆用途、内容 B工法用 樹脂モルタル ◆入り目 粉体 20kg 混練り液 1kg

	製品名	荷姿	主成分	用途
防食材	FTTopp E	主材 15kg/袋 硬化剤 5kg/箱	エポキシ樹脂モルタル	B-2-E工法用 耐食性樹脂モルタル
	FT Qプライマー	主剤 4kg/缶 硬化剤 4kg/缶	水性エポキシ樹脂	B-4工法用 プライマー
	FTレジン E-200	主剤 12kg/缶 硬化剤 3kg/缶	無溶剤型エポキシ樹脂	B-4工法用 防食被覆材
	FTレジン E-300	主剤 12kg/缶 硬化剤 3kg/缶	無溶剤型エポキシ樹脂	B-4工法用 防食被覆材
補修その他	FTメッシュ	100m巻き	ガラスクロス+ポリエステル	C工法用
	FTクロス	100m巻き	ポリエステル	C工法用
	FTシート	50m巻き	ポリエチレン	D工法用
	FTボンド	18kg/缶	アクリル系樹脂	D工法用
	FTテープJ	100m巻き	ガラスクロス+ポリエステル	D工法用